



『宇都宮の旧跡』（宇都宮市教育委員会／編 1994）【K202.1/ウ/2】

宇都宮市内各地に残る旧跡を広く紹介している。調査内容も比較的詳しい。

『戊辰日記』（徳田浩淳／編 宇都宮史料保存会 1957）【K210.6/ト】

慶応4年（1868）、宇都宮藩の財政を担当していた県信緝が記した日記の写本を、加筆訂正なく書き起こしたもの。

『蒲生君平の『山陵志』撰述の意義—「前方後円」墳の名付け親の山陵研究の実態—』（阿部邦男／著 皇學館大學出版部 2013）【K289/ガモウ】

P455～519「宇都宮藩による山陵修補事業」

幕末の宇都宮藩戸田家の一大事業である、山陵修補事業。その実施に深く影響を与えた『山陵志』、およびその著者である蒲生君平についての研究書。

◎同著 関連論文

『宇都宮藩による山陵修補事業の実態—県信緝と戸田忠至を中心として—』（「明治聖徳記念学会紀要 復刊第25号」抜刷，1998）【K210.6/ア】

『宇都宮藩による山陵修補事業—その諸問題克服と事業完成の歴史的意義—』（「神道史研究 第48巻第1号」抜刷，2000）【K210.6/ア】

『北関東下野における封建権力と民衆』（秋本典夫／著 山川出版社 1981）【K204 ア】

P135～179「宇都宮藩」

領主の変遷とともに、その土地で起こった、さまざまな問題の対応に奔走した民衆に焦点をあてている。

『下野と近世大名』（栃木県立博物館／編 1989）【K200.5/ト】

P67～73「宇都宮藩」

江戸時代の下野国における大名の配置状況、歴史を明らかにするとともに、それにまつわる史資料・史跡などを紹介する。

この他にも資料がありますので、図書館職員にお気軽にご相談ください。



戸田忠恕之碑

H26.12.1 改訂

宇都宮市立中央図書館

〒320-0845

宇都宮市明保野町7番57号

TEL : 028-636-0231 FAX : 028-639-0740

9:30～19:00（金曜休館）